

さわ通

2010.7 特別号

特集・「草原」 歌い始めて3周年

ミュージカント AMANE

〒114-0034

東京都北区上十条3-3-16

TEL 03-3908-8011

homepage <http://www.8011.jp/>

歌い手のみなさまの一言メッセージ集

2007年7月下旬「さわうた」を開始して4ヶ月経った頃に「さわうた」のイメージを歌に託して発表したのが「草原」でした。2010年7月で丸3年が経ちました。「さわうた」で歌った回数425回(7/15現在)、1万人キャンペーンは6,500人を超えています。

3周年を記念して、歌い手の皆様から一言メッセージを寄せていただきました。(順不同です)



「草原」と出会って、歌うことで元気になり、知らない方ともお友達になり、AMANEに行くのが、いまでは一番の楽しみになりました。

さわうたで最後に歌ううた「草原」のピアノのメロディが流れると、今日はおしまいなんだ！この曲、歌詞をずっと口ずさんで家路につきます。

ほんとうに、誰にでもすぐ覚えてもらえるメロディ。私はいちばん好きです。

まっすぐに生きていればずっと見ていてくれる。こんな素晴らしい「詩」に出会えたアマネに通うようになって良かった。

「草原」の中に出てくる親子の会話は、AMANEさんの実体験なのかなあ。我が家の前を通る親子の会話……。

坊や 「アッ、アンネのパラだ」

ママ 「そんなわけないでしょ！」

そんな会話を耳にしたとき、私は、なんとかしてこの坊やの正しさを伝えたいと思ったものだ。「草原」を歌うと、この会話が思い出されて、なんて素敵なお母さん！

素晴らしい「草原」の唄に出会い、子どもの頃を思い出しています。

人には誰にも言えない苦しみ、悲しみがあると思います。あの時のわたしは、あまりの辛さに自分の命を絶とうとさえ思っていました。ひとり、苦しんでいました。

「草原」と出会って、私の人生は大きく変わりました。ひろい草原の上に広がる青い空、やさしい風に包まれて歌いながら、そうだ、強く生きていかなくては！そう決心しました。「草原」に感謝しています。ありがとうございました。

孫も大好きな「草原」！毎日孫と一緒に歌っています、というかどなっています。

「広い草原にいつかはきっと帰るだろう」。このところだけ手話を練習しています。孫のほうがすっかり覚えてしまい、私のほうが遅ったりしています。まごまごして……、という事で、大好きです。

「草原」を元気いっぱいというたっていると、希望が生まれ楽しくなり、落ち込んだ心が明るくなります。ありがとうございます。

歌を唄うことがとても楽しいです。これからも元気で長続きすることを願っております。毎月、新しい歌を教えてください。

皆様と一緒に歌うと、間違っていて覚えていることが良く分かります。大勢で歌うことは楽しいことですね。

お散歩中に何気なく咲いている雑草から、こんなにステキな歌詞が生まれるのは日本人だからこそその「心の声」を聞いたような気がします。この歌は、小学生からお年寄りまで、日本中の人たちに歌って欲しいと思います。

私も、何事にもめげず生きていきたいと思います。

草原で「草原」を唄った八ヶ岳バスツアーは、一番の思い出です。また、赤羽会館でのスペシャルライブは、とても良かったです。



<心の中の草原>

幼い頃田舎の草競馬場の草原、学生時代修学旅行で行った北海道の牧場の草原と、私の草原の思い出は走馬燈のようによみがえります。

「草原」に出会って思う事……母の愛、純粋な心、自然に逆らわない生き方、全て子育てに必要なことばかりだと思います。

私の草原の思い出の中に、「心の中の草原」として加わりました。





さわうたに通い始めて3年たったとは思えないほど、楽しく過ぎました。
これからも長く続くことと思っています。勇気、元気の出る歌だと思います。



三周年おめでとうございます！

草原を歌い続けて三年になります。大勢の方々の良い出会いがあり、そして何より自分自身を高める、きっかけにもなりました。

何か私にとって運命的なものを感じています。続けていくこととは、こういうことなのでしょうね。これからも草原の片隅で夢を追い続けていきたいと思っています。

なぜか、歌うたびに胸がじんとなり涙ぐんでしまいます。それは、詩と曲が良く、心うたれるからだだと思います。

上野さんの手話とご一緒に歌わせていただくことにも感謝しています。これからもよろしくお願ひいたします。

歌い始めて3周年、誠にありがとうございます。

「草原」の詩は、AMANEに集う人たちの心の絆となっています。四季の移り変わり、雄大な自然、そして人間のやさしい心情が伝わってきます。

いずれにせよ、この一刻に心の解放を共有できることはすばらしい！ 音楽のもつ力に時を忘れて楽しんでます。

さわうたにお仲間入りして約1年です。必ず歌うテーマ曲「草原」は、初回から、まあ！ いまどき爽やかな歌だなあと聴きながら、回を重ねてやっと自分も唄えるようになりました。心が大空に向かって広がっていくような、また、優しい気持ちになれますね。

この歌は、ぜひ、今の若い人たちに聴いて歌ってほしいなあーと、いつも思っています。



三年間・・・、一口に三年といっても、きっといろいろな出来事があったことでしょう。

それでも、それを乗り越えての今日、週3日間のどの日も満員に近い人々が集ってきて、それだけ皆さんが求めているさわうたなのだと思います。

これからも皆さんに愛され、発展していくことを祈ります。

「草原」の歌に触れると心が安らぎます。

逆境の中から可憐な姿を覗かせるトキワハゼを知りました。春から秋まで長い期間花を咲かせるとの事。

この歌のように夢と希望を持ち続ける人生を送りたいです。

声を出すことの少なくなった私にとって、さわうたは憩いの場所です。偶然ですが、主人があわせてくれました。

あまねでお会いする人々の笑いが素敵です。

テレビ放映とか？ お客さんが増えて、お店に入れなくなるのが心配です。

親しみやすく、とても素晴らしい詞・曲だと思います。

最近「10,000人に歌ってもらおう」キャンペーンが少し薄らいできたような・・・。忙しくなってきたということかもしねませんね。それならそれで良いです。

「草原」のみのCDがあると面白いのでは？ 服部まりさん、松本圭未さん、ユミティーさん、セキシユウさん、箏、ヴァイオリンetc. で、一番ずつくりかえして・・・。

最近お邪魔するようになりました。

なぜか、カラオケが大きらいな私です。リズムと音程ハズレが直るまで歌わせてください。

大きらいが大好きになりますよう。

やっと歌も覚えて、口ずさみながら道を歩いていると、コンクリートの角にたくさんの花が生きていることに気づきました。けなげなすがたに、思わず話しかけてしまいます。「人にふまれないようにね」って。

勤めと子育てで忘れていた歌を久しぶりに思い出させてくれました。

祖母、そして母・父・友達のこと。夏でも手の切れるような冷たい沢の水。枯れ草の上で流れる雲を眺めていたあの日・・・。

いろんなことが思い浮かんで、涙が溢れてきました。ありがとう、「草原」に出会えて、ほんとうによかったです。

3周年、おめでとうございます。

いつも楽しい歌のスタジオを開いてくれるアマネさんと木村さんには感謝しています。

草原の歌い手として認定証をもらい、楽しく参加させていただいています。これからもよろしくお願ひいたします。

草原考

自然の中にある草原は、次第にこの世界からなくなっていくのではないかと思う。人工化された畑に変わっていくか砂漠になっていくか・・・。

そのうち、「砂漠を緑に！」という運動がおこるだろう。それはバイオの力を使った管理された草原の復活なのだろうが、いずれ「友愛の草原」が出現することを望んでいる。



Illustrated by Kozue

7月から始まるプチ・コーラスでの「草原」の三部合唱が楽しみです。

すばらしい先生のご指導で、立派な合唱曲に仕上がったら、胸を張って楽しみたいと思います。